

2023年度 日本看護協会 教育計画

- ・日本看護協会では、毎年教育計画を定め、看護の質保証を目的とした看護職のキャリアに応じた継続教育を実施しています。
- ・2023年度は2022年度の基本方針を踏襲し、有識者からなる委員会での議論や受講アンケートのご意見等をもとに、研修内容の見直しや新規研修の企画を行いました。
- ・活動の場の広がりによる研修受講機会の多様化へのニーズや、コロナ禍の影響等で受講の機会が限られる中で、継続的な研修機会の保障にむけ研修受講スタイルの変更等に重点的に取り組めます。
- ・さまざまな場で活動する看護職の看護実践の充実や、能力の開発・維持・向上に、多くの研修が活用されることを期待しています。

教育計画におけるトピック

▶▶▶ 診療報酬に係る研修はこちら

- ◆ 研修番号110 <看護補助体制充実加算>
「看護補助者との協働推進のための研修」
- ◆ 研修番号201 <移植後患者指導管理料>
「臓器移植における基礎知識と看護実践」
- ◆ 研修番号205 <入退院支援加算3>
「小児在宅移行支援指導者育成研修」
- ◆ 「医療安全管理者養成研修」<医療安全対策加算>
(JNA収録 DVD研修)
- ◆ 「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」<認知症ケア加算2, 3>

教育計画掲載外の診療報酬に係る研修は、
研修ポータルサイトでご確認ください。

▶▶▶ 注目の新規研修 6本の研修を新規配信

- ◆ 研修番号112
「①感染予防の基本2023/②誤嚥を予防する食事介助の基本」
- ◆ 研修番号113
「介護保険施設で生活する高齢者の支援に必要な知識とケア」
- ◆ 研修番号114
「専門職の社会的責務と制度・政策の決定過程への参画」
- ◆ 研修番号140
「労務管理入門～働きやすい職場環境づくりの基礎知識～」
- ◆ 研修番号206
「高齢者の“いつもと違う”を看護に活かす③
～胸が痛いと訴える高齢者～」
- ◆ 研修番号209
「不妊治療と仕事の両立を支援する看護管理者の役割」

日本看護協会の 研修ポータルサイト

詳細は
こちらから



<https://www.nurse.or.jp/nursing/education/training/index.html>

研修ポータルサイトを新設しました！

2022年3月より研修ポータルサイトを新設し、研修検索や看護実践に活用するための情報を分かりやすく提供しています。

どのような情報が得られるの？

- ・ 研修に関する最新情報 **ぜひ、研修ポータルサイトをご覧ください！**
- ・ 研修検索
- ・ 研修の活用情報(実践への活用、施設内教育への活用)
- ・ 研修を受講した方の声：おすすめのポイント
受講者が、研修から何を学び、どう実践に生かしたかなど、研修を選択する時に参考となる情報です。
- ・ 国の動向や政策に関連した研修情報
研修が制作された背景、国の動向や政策に関連する情報です。施設内で研修を活用する時の動機づけにご活用ください。



キーワード検索で効率的に研修検索

「意思決定支援」「連携」など学びたい内容のキーワードを入力すると関連研修がヒット！

条件指定による絞り込み検索もちろん可能です

絞り込み検索

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----------------|--------------------------------------|----------------------------|-------------|
| 研修分類 | 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ高い看護の普及に向けた継続教育 | ラダーと連動した継続教育 | 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 | 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 | 資格認定教育 |
| ラダー | CLoCMIPレベルII | CLoCMIPレベルIII | | | |
| レベル別 | JNAラダーレベルIを目指す看護師 | JNAラダーレベルI | JNAラダーレベルII | JNAラダーレベルIII | JNAラダーレベルIV |
| | マネジメントラダーレベルI | マネジメントラダーレベルII | マネジメントラダーレベルIII | マネジメントラダーレベルIV | |
| 種類 | オンデマンド研修 | オンライン研修 | 認定看護師教育 | 特定行為研修 | 認定看護管理者教育課程 |
| | 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 | 医療安全管理者養成研修 | 臓器移植における基礎知識と看護実践 | 小児在宅移行支援指導者育成研修 | |

キーワード検索！

キーワード検索

施設内研修でどう活用する？

- ■ ■ オンライン研修 ■ ■ ■
 - ■ ■ オンデマンド研修 ■ ■ ■
- 事例検討における思考過程を参考に、施設・部署内での勉強会・学習会の企画に活用！
- エビデンスに基づいた確かな研修が繰り返し視聴可能。研修の均質化で効率的な人材育成を！

それぞれの特徴を活かした施設内教育での活用、取り組み例についてご紹介。あなたの施設でも是非ご活用ください。

オンライン？
オンデマンド？



多様な研修情報

看護補助者との協働に関連する研修など多様な研修情報を掲載例：看護補助者を対象とした標準研修

講義と「演習ガイド」がセットになった研修もあり、演習で押さえるポイントや演習方法に関する情報も得られます。

他にも施設内教育に役立つ研修情報を掲載しています。

演習ガイド
移動・移送に関する業務
▶歩行介助の一場面



手すりと反対側のやや後方に立つ

キャリアース



受講した研修が自動的に保存され、自分の受講履歴が管理できます！

～研修受講の軌跡を振り返り、これからの看護にお役立てください～

他にもキャリアースに登録すると…

- 全国の都道府県看護協会や日本看護協会が実施する研修情報の検索ができる
- 「最新看護索引WEB」を使った看護関連領域の文献検索ができる



日本看護協会会員の皆さま
専用のWEBページです

<https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>

研修分類

継続教育における教育研修の位置付けを、これからの社会における看護の役割発揮を支援するための5つの分類として、提示しています。

| 分類 | 内容 |
|--|--|
| 1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 | 1) 新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修 2) 政策提言に向けた研修 3) 診療報酬に関連した研修 |
| 2 ラダーと連動した継続教育 | 1) 「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー) (CLOCMiP®)」 2) 「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版) (JNAラダー)」 |
| 3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 | 1) 看護管理者を対象とした研修 2) 認定看護管理者を対象とした研修 3) これから看護管理を担う人々を対象とした研修 |
| 4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 | 1) 施設内教育におけるJNAラダー活用のための研修 2) 都道府県看護協会の教育担当者・教育委員対象研修 |
| 5 資格認定教育 | 1) 認定看護管理者教育課程 2) 認定看護師教育課程 |

※インターネット配信研修[オンデマンド] 配信初日は13時から受付を開始します。配信最終日は13時で終了となります。申込期間の最終日も13時までとなります。

★は無料視聴できる期間(4月3日13時~4月14日13時まで)を設けました。

OD=インターネット配信研修[オンデマンド] / ZM=Zoomミーティング[オンライン] / ZW=Zoomウェビナー[オンライン]

C=「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー) (CLOCMiP)」 / JNA=「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版) (JNAラダー)」 / M=病院看護管理者のマネジメントラダー 日本看護協会版ラダーレベルは、研修制作上の目安として設定しているものです。受講者を限定するものではありません。 診: 診療報酬に関連する研修

| 研修分類 | 研修番号 | 提供方法 | ラダーレベル | 研修名 | 時間数 | 申込QRコード | 配信期間/開催日(申込期間) | おすすめポイント | | | |
|------|-------|---|------------------------|---|-----|---------|-------------------------------|--|---|------------------------|---|
| 分類1 | 101 | OD | - | 地域診断に基づく保健活動の展開 | 90分 | | ★4月17日~2月13日(4月17日~1月15日) | 地域診断に基づく事業の展開を目指し、PDCAサイクルを活用した保健活動を学びます。 | | | |
| | 102 | | - | 健診センター等における効果的な継続支援につながる保健指導のコツ | | | | 保健指導のあり方を学び、対象者一人ひとりの生活習慣の改善など、行動変容に結びつくヒントが得られます。 | | | |
| | 103 | | - | 困難事例を支援する事例検討会を学ぶ~個別課題から地域課題への検討・解決につなげる事例検討の視点・ポイント~ | | | | 複雑かつ多重課題を、個別課題から地域課題につなげる有効な事例検討を学び、対象に合った実践に活かします。 | | | |
| | 104 | | - | 保健活動におけるポピュレーションアプローチの企画と評価のポイント | | | | 集団全体に働きかける健康増進の取り組みとして有効とされるポピュレーションアプローチ。実践例をもとに、自身で展開できるようにしましょう。 | | | |
| | 105 | | JNA II | 生命危機の場面における倫理的実践 | | | | 様々な生命危機の場面に立ち会う看護職が、専門職として倫理的判断に基づく対応を学びます。 | | | |
| | 106 | | JNA III | 地域で暮らす高齢者を支える看護職連携の実践 | | | | 地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築が進むなか、どのような看護職連携が必要か、事例をもとに一緒に考えましょう。 | | | |
| | 107 | | JNA IV | 複合的な問題を抱えながら地域で暮らす高齢者を支える看護職・多職種連携 | | | | 複合的問題を抱え地域で暮らす高齢者に対し、質の高いケアを提供するために互いの専門性を尊重した多職種連携を学びます。 | | | |
| | 108 | | - | 看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェア | | | | 「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに関するガイドライン及び活用ガイド」に基づく研修です。タスク・シフト/シェアをしっかり学びます。 | | | |
| | 109 | | - | 看護チームにおける業務のあり方(基礎編: 看護師の責務) | | | | 看護チームの中で看護師が果たす役割と責任、安全で質の高い看護の提供に向け、看護師・准看護師・看護補助者の業務のあり方を学びます。 | | | |
| | 110 | | - | 看護補助者との協働推進のための研修<看護補助体制充実加算対応> | | | | 3時間 | 医療機関の看護職が専門性の発揮を目指し、看護補助者との安全な協働のために必ず知っておくべき内容です。 ※厚生労働省の補助金により作成したプログラムです。 | | |
| | 111 | | - | ①看護に生かす褥瘡予防の基本 ②誤嚥性肺炎を予防する口腔ケアの基本 | | | | 90分 | | 7月3日~2月13日(7月3日~1月15日) | 最新の知識を学び、対象者に安全安楽な技術を提供するために必要な研修です。准看護師の方を主な対象としています。研修番号112は、新興感染症について学べるよう刷新しています。 |
| | 112 | | - | ①感染予防の基本2023 ②誤嚥を予防する食事介助の基本 | | | | | | | |
| | 113 | | - | 介護保険施設で生活する高齢者の支援に必要な知識とケア | | | | | | | 介護保険施設で働く看護職が、医療機関との違いや高齢者の特徴を踏まえたケアについて学べる内容です。 |
| | 114 | | - | 専門職の社会的責務と制度・政策の決定過程への参画 | | | | | | | 専門職としての社会的責務とは何か。制度や政策に影響を与える看護職の関わりについて重要性を学びます。院内研修での活用をおすすめします。 |
| 分類2 | 201 | ZM | - | 臓器移植における基礎知識と看護実践<移植後患者指導管理料対応> | 3日間 | | 6月20日~22日(4月10日~4月25日) | 移植後患者指導管理料の臓器移植後の場合における「移植医療に係る適切な研修」に該当する研修です。移植コーディネーターを目指す方や臓器移植に関わる方におすすめです。 | | | |
| | 202 | ZW | JNA IV | 高齢者の「いつもと違う」を看護に活かす①~夜、眠れない高齢者~ | 3時間 | | 6月27日(4月10日~4月25日) | シリーズ第1弾! 病院、在宅等の場を問わず、夜、眠れない高齢者の訴えから「今、何が起きているのか」状況判断に必要なヘルスアセスメントを学びます。 | | | |
| | 203 | ZW | JNA IV | 高齢者の「いつもと違う」を看護に活かす②~食事に時間がかかる高齢者~ | 3時間 | | 7月25日(5月10日~5月24日) | シリーズ第2弾! 病院、在宅等の場を問わず、食事に時間がかかる高齢者の状況から「今、何が起きているのか」状況判断に必要なヘルスアセスメントを学びます。 | | | |
| | 204 | ZM | - | 産業保健活動推進リーダーとしての保健師に必要な能力の強化 | 3日間 | | 7月26日、27日、11月30日(4月10日~4月25日) | ※応募要件と事前課題あり。11月のみ集合研修(場所未定) 産業保健推進リーダーとして所属組織の課題解決に研修で取り組みます。 | | | |
| | 205 | ZM | - | 小児在宅移行支援指導者育成研修<入退院支援加算3対応> | 2日 | | 9月7日、8日(4月10日~25日) | ※応募要件と事前課題あり。医療的ケア児と家族の在宅移行を支援したい方に受講して頂きたい研修です。 | | | |
| | 206 | ZW | JNA IV | 高齢者の「いつもと違う」を看護に活かす③~胸が痛いと訴える高齢者~ | 3時間 | | 9月12日(6月9日~6月22日) | シリーズ第3弾! 病院、在宅等の場を問わず、胸が痛いと訴える高齢者の訴えから「今、何が起きているのか」状況判断に必要なヘルスアセスメントを学びます。 | | | |
| | 207 | ZW | JNA IV | 高齢者の「いつもと違う」を看護に活かす④~なんとなく息が荒い高齢者~ | 3時間 | | 10月3日(7月10日~7月25日) | シリーズ第4弾! 病院、在宅等の場を問わず、なんとなく息が荒い高齢者の症状から「今、何が起きているのか」状況判断に必要なヘルスアセスメントを学びます。 | | | |
| 分類2 | 115 | OD | C-II | 【CLOCMiPレベルⅢ認証申請のための必須研修】臨床推論につなげるためのフィジカルアセスメント 脳神経編 | 90分 | | 4月17日~2月13日(4月17日~1月15日) | 2022年以降アドバンス助産師 [新規] [更新] 申請要件 [必須研修] に該当 | | | |
| | 116 | | C-II | 【CLOCMiPレベルⅢ認証申請のための必須研修】臨床推論につなげるためのフィジカルアセスメント 呼吸・循環編 | | | | | | | |
| | 117 | | C-II | 【CLOCMiPレベルⅢ認証申請のための必須研修】臨床薬理(妊娠と薬) | | | | | | | |
| | 118 | | C-II | 【CLOCMiPレベルⅢ認証申請のための必須研修】臨床病態生理 | | | | | | | |
| | 119 | | C-II | 【CLOCMiPレベルⅢ認証申請のための必須研修】妊娠と糖尿病 | | | | | | | |
| | 120 | | C-II | 【CLOCMiPレベルⅢ認証申請のための必須研修】周産期における医療安全と助産記録 | | | | | | | |
| | 121 | | C-III | 【アドバンス助産師[更新] 選択研修】「院内助産・助産師外来ガイドライン2018」の活用のすすめ | | | | | 2022年以降アドバンス助産師 [更新] 申請要件 [選択研修] に該当 | | |
| 122 | C-III | 【アドバンス助産師[更新] 選択研修】院内助産における産婦主体の助産ケア提供~フリースタイル分娩の介助 | | | | | | | | | |
| 123 | C-III | 【アドバンス助産師[更新] 選択研修】助産実践能力習熟段階(CLOCMiP)と助産師の活躍 | 7月3日~2月13日(7月3日~1月15日) | 助産師(アドバンス助産師を含む)、産科領域で勤務する看護師、看護管理者におすすめです。 | | | | | | | |

※「CLOCMiP」は助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)である、Clinical Ladder of Competencies for Midwifery Practiceの頭文字から表記しており、公益社団法人日本看護協会の登録商標です。

※研修番号115~119は、2023年4月産婦人科診療ガイドラインの改訂内容を反映した内容で新たに配信する可能性があります。決定次第、研修ポータルサイトへ掲載します。

| 研修分類 | 研修番号 | 提供方法 | ラダーレベル | 研修名 | 時間数 | 申込QRコード | 配信期間/開催日(申込期間) | おすすめポイント | | | | | | | |
|-------------|--------|---------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|---|---|--|--|-----------|-------------------------------------|-------------------------------|--|---------------------------------|---|
| 分 類 2 | 124 | OD | JNA I | 標準的な看護計画に基づくフィジカルアセスメント | 90分 | | ★4月17日～2月13日 (4月17日～1月15日) | JNA I | 標準的な看護計画に基づくフィジカルアセスメント | ニーズをとらえる力 | 症例を用いた演習により看護上の問題をとらえるポイントを学びます。 | | | | |
| | 125 | | JNA II | ケアの受け手の状況に応じたフィジカルアセスメント | | | | JNA II | ケアの受け手の状況に応じたフィジカルアセスメント | ニーズをとらえる力 | 症例を用いた演習により優先度を判断するポイントを学びます。 | | | | |
| | 126 | | JNA II | ケアの受け手の全体像把握のためのアセスメントの統合 | | | | JNA II | ケアの受け手の全体像把握のためのアセスメントの統合 | ニーズをとらえる力 | ケアする力 | 症例を通し切れ目のないケアの提供に必要な視点を学びます。 | | | |
| | 127 | | JNA II | ケアの改善のためのエビデンスの活用 | | | | JNA II | ケアの改善のためのエビデンスの活用 | ケアする力 | エビデンスを活用したケアの評価と再構築について学びます。 | | | | |
| | 128 | | JNA II | 急変の予測と救命救急場面の対応 | | | | JNA II | 急変の予測と救命救急場面の対応 | ケアする力 | 急変の前兆に気付くポイントや対応の実際について学びます。 | | | | |
| | 129 | | JNA II | 看取りにおける尊厳の尊重と苦痛の緩和 | | | | JNA II | 看取りにおける尊厳の尊重と苦痛の緩和 | ケアする力 | 看取りにおける看護師の役割と患者・家族への支援について学びます。 | | | | |
| | 130 | | JNA Iを 目指す 看護師 | チーム医療の構成員である看護師として果たすべき役割 | | | | JNA Iを 目指す 看護師 | チーム医療の構成員である看護師として果たすべき役割 | 意思決定を支える力 | 看取りにおける看護師の役割と患者・家族への支援について学びます。 | | | | |
| | 131 | | JNA I | 地域包括ケアシステムを形成する施設・職種・制度 | | | | JNA I | 地域包括ケアシステムを形成する施設・職種・制度 | 協働する力 | 看護師として働く上での責任・報・連・相の重要性を学びます。 | | | | |
| | 132 | | JNA II | 協働におけるコンサルテーションと多職種カンファレンス | | | | JNA II | 協働におけるコンサルテーションと多職種カンファレンス | 協働する力 | 地域包括ケアシステム推進のための制度や連携について学びます。 | | | | |
| | 133 | | JNA II | 自施設周辺の地域包括ケアシステムの理解 | | | | JNA II | 自施設周辺の地域包括ケアシステムの理解 | 協働する力 | 症例を通し効果的な多職種カンファレンスのポイントを学びます。 | | | | |
| | 134 | | JNA III | ケアの受け手の自己決定を支える多職種の協働・連携 | | | | JNA III | ケアの受け手の自己決定を支える多職種の協働・連携 | 協働する力 | 地域包括ケアシステムを理解し社会資源の活用につなげる方法を学びます。 | | | | |
| | 135 | | JNA Iを 目指す 看護師 | 日常生活場面で理解する看護職の倫理綱領と看護業務基準2021改訂版 | | | | JNA Iを 目指す 看護師 | 日常生活場面で理解する看護職の倫理綱領と看護業務基準2021改訂版 | 意思決定を支える力 | 多職種・地域での協働における必要な考え方を学びます。 | | | | |
| | 136 | | JNA I | ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスとその理解 | | | | JNA I | ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスとその理解 | 意思決定を支える力 | 看護職が社会的責務を果たすうえで拠りどころとなる倫理綱領等を学びます。 | | | | |
| | 137 | | JNA II | ケアの受け手の意思決定における権利擁護 | | | | JNA II | ケアの受け手の意思決定における権利擁護 | 意思決定を支える力 | 意思決定支援に必要な情報収集について学びます。 | | | | |
| | 138 | | JNA IV | 地域での療養生活と看取りを実現するための最適な看護介入とQOLの維持向上 | | | | JNA IV | 地域での療養生活と看取りを実現するための最適な看護介入とQOLの維持向上 | 意思決定を支える力 | 権利擁護の必要性について、事例を通して学びます。 | | | | |
| | 139 | | M-I | OD | | | | M-I | 地域および自組織の課題のアセスメントと解決に向けた調整力の育成 | 90分 | | ★4月17日～2月13日 (4月17日～1月15日) | M-I | 地域および自組織の課題のアセスメントと解決に向けた調整力の育成 | セクションの管理者として課題解決のために必要な調整力を、事例に基づき学びます。 |
| | 140 | | M-I～II | | | | | 労務管理入門～働きやすい職場環境づくりの基礎知識～ | M-I～II | | | | 労務管理入門～働きやすい職場環境づくりの基礎知識～ | 7月3日～2月13日 (7月3日～1月15日) | 働き方改革等国の最新動向をふまえた労働関係法令と基礎知識を学びます。現場で生じやすい疑問にも応えます。 |
| | 141 | | M-II | | | | | 「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)」を目指して！ ～看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドラインの活用～ | M-II | | | | 「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)」を目指して！ ～看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドラインの活用～ | ★4月17日～2月13日 (4月17日～1月15日) | ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)に関する国の最新動向に基づき、管理者が知っておくべき内容を学びます。 |
| 142 | M-II | 自部署や地域における看護ニーズの変化を予測した看護管理の実際 | M-II | | 自部署や地域における看護ニーズの変化を予測した看護管理の実際 | 管理者として組織内外の課題をアセスメントし、地域の看護ニーズを予測し、重症化予防などへの対策について学びます。 | | | | | | | | | |
| 143 | M-III | 看護職の多様な働き方とやりがいを支える評価・処遇 | M-III | | 看護職の多様な働き方とやりがいを支える評価・処遇 | 未定 研修ポータルサイトでご案内 | 看護職の働き方が多様化する中において、やりがいを支える評価・処遇に関して、管理者が押さえるべきポイントを学びます。 | | | | | | | | |
| 144 | M-IV | 地域包括ケアシステムの推進に向けた専門性の高い看護師等の活用の仕組みの構築 | M-IV | | 地域包括ケアシステムの推進に向けた専門性の高い看護師等の活用の仕組みの構築 | ★4月17日～2月13日 (4月17日～1月15日) | 専門性の高い看護師等を施設内で効果的に活用するにあたり、仕組みづくりなど、管理者としての視点を学びます。 | | | | | | | | |
| 145 | - | 看護チームにおける業務のあり方(マネジメント編) | - | | 看護チームにおける業務のあり方(マネジメント編) | 安全で質の高い看護の提供を目指し、看護チームのメンバーが役割と責任を果たせるよう、業務のあり方などのマネジメントについて学びます。 | | | | | | | | | |
| 208 | M-I | ZM | M-I | | 主任のための組織管理入門 ～自部署の問題を組織管理の視点で考える～ | 1日 | | 6月14日 (4月10日～4月25日) | 主任のための組織管理入門 ～自部署の問題を組織管理の視点で考える～ | | | | 組織管理能力を高めたい主任におすすめです。事例検討を通して、部署で生じた問題を組織管理の視点で考えてみましょう。 | | |
| 209 | M-I～IV | | 不妊治療と仕事の両立を支援する看護管理者の役割 | M-I～IV | 不妊治療と仕事の両立を支援する看護管理者の役割 | | | 7月5日 (4月10日～4月25日) | 不妊治療と仕事を両立するスタッフを支援する看護管理者の方におすすめです。 | | | | | | |
| 210 | M-II | | 看護師長のレジリエンス強化 ～環境変化への即応力と柔軟性～ | M-II | 看護師長のレジリエンス強化 ～環境変化への即応力と柔軟性～ | | | 9月27日 (7月10日～7月25日) | 目まぐるしく変化する医療環境に対応する看護師長におすすめの研修です。研修を通して、ご自身とチームのレジリエンスを高める方法を実践しましょう。 | | | | | | |
| 分 類 4 | 211 | M-I | M-I | 研修での学びと実践をつなぐ指導者のための研修 | | | 7月12日 (4月10日～4月25日) | 研修での学びと実践をつなぐ指導者のための研修 | スタッフの研修での学びを実践にうまく引き出したい方におすすめです。所属部署の教育担当者や主任に受講いただきたい研修です。 | | | | | | |

| 研修分類 | 対象 | 看護研修学校 学科名/神戸研修センター 課程名 ()内は募集人数 | 研修場所 |
|-------------|-------------|---|--------------------|
| 分 類 5 | 認定看護師教育 | クリティカルケア(30) 皮膚・排泄ケア(30) 感染管理(30) 糖尿病看護(30) 認知症看護(30) がん薬物療法看護(30) 感染管理(30) | 看護研修学校 神戸研修センター |
| | 認定看護管理者教育課程 | 研修名 ()内は募集人数 開催期間 | 研修場所 |
| | | サードレベル(30) 10月19日～12月20日のうち32日間(予定) | 神戸研修センター |

| 研修分類 | 対象 | 特定行為区分 | 研修場所 | 募集人数 | 申込期間 | 研修期間 |
|--------|------------------|---|----------|------|----------------|---------------------|
| 特定行為研修 | 認定看護師 | <必修> 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 <選択> ①感染に係る薬剤投与関連 ②精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 | 神戸研修センター | 120 | 1月4日～ 1月17日 | 2023年7月～ 2024年6月 |
| | 在宅領域に 従事する看護師 | <必修> 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 <選択> ①呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 ②創傷管理関連 ③感染に係る薬剤投与関連 ④血糖コントロールに係る薬剤投与関連 ⑤循環動態に係る薬剤投与関連 ⑥精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 ⑦動脈血液ガス分析関連 ⑧呼吸器(気道確保に係るもの)関連 ⑨栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連 ⑩呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連 ⑪領域別パッケージ研修「救急領域」 ⑫領域別パッケージ研修-a「在宅・慢性期領域」 | 看護研修学校 | 200 | | |
| | | ⑬領域別パッケージ研修-b「在宅・慢性期領域」 | | | | |

※詳細は、[本会HP](https://www.nurse.or.jp/)の募集要項でご確認ください。 [本会HP](https://www.nurse.or.jp/) <https://www.nurse.or.jp/>▶生涯学習支援▶特定行為研修

| 研修名 | 時間数 | 受講料(税込) | 特記事項 | 提供方法 | 申込期間 |
|-----------------------------|-----------------------------------|--------------------------|--|-----------------------|-------------------------------|
| 医療安全管理者養成研修 <医療安全対策加算対応> | 40時間 (オンデマンド研修35時間 集合研修5時間) | 会員 30,800円 一般 46,200円 | パッケージでの申込みとなります 本研修専用の申込みサイトより お申し込みください | オンデマンドと 集合研修の組み合わせ | 5月8日～5月19日 ※詳細は研修ポータルサイト参照 |

| 研修名 | 時間数 | 受講料(税込) | 研修場所 | 特記事項 | 開催日 |
|-------------------------------------|---------------|------------------------|----------|-------------------------------------|--------|
| 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 <認知症ケア加算2,3対応> | 12時間 (2日間) | 会員 6,270円 一般 9,460円 | 都道府県看護協会 | 都道府県看護協会の開催日・会場・応募期間等を確認後、お申し込みください | 6月～12月 |

※詳細は、[研修ポータルサイト](https://www.nurse.or.jp/)にてご確認ください。 [本会HP](https://www.nurse.or.jp/) <https://www.nurse.or.jp/>▶研修ポータルサイト▶研修の検索

個人情報の取り扱いについて 本会の個人情報保護方針および規定に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。本会研修申込に際して得た情報は、以下の利用目的の範囲内でのみ利用し、利用目的以外で利用することはありません。①本会の研修を受講する際の本人の確認 ②本会の研修に関する連絡・情報提供等 ③アンケートその他の方法による本会の事業推進に資する情報収集 ④研修受講履歴を会員向けマイページ「キャリアナース」で会員本人が参照可能となるための会員情報管理体制ナースシップとの連携 ①～④の具体例:研修会申し込みに伴う書類発送、学習ニーズや研修評価に伴う調査依頼、研修案内等での利用

2023年度 日本看護協会 教育計画

基本方針 公益社団法人日本看護協会（以下、本会という）は、看護の質の向上、安心して働き続けられる環境づくりの推進、人々のニーズに応える看護領域の開発・発展を図ることにより、人々の健康で幸福な生活の実現に貢献することを使命としている。この目的に向け、定款第4条の7事業の一番目に「教育等看護の質の向上に関する事業」を挙げている。

2015年に本会が策定した「看護の将来ビジョン」においては、そのビジョンを達成するための活動の一つとして、質の高い看護人材を育成する教育・研修・資格・認証制度の構築がある。また、専門職としての役割について、それに見合う専門的な能力を確保することと専門職としての自律が不可欠であり、常に研鑽が求められる。本会は「看護の将来ビジョン」達成に向けて、看護の質保証を目的とした看護職のキャリアに応じた継続教育を、「継続教育の基準ver.2」を基盤とし、都道府県看護協会と常に連携・協働して実施する。

上記を実現する具体的な戦略としては、①「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育、②ラダーと連動した継続教育、③看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育、④専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育、さらに⑤資格認定教育、を主として研修を構成し、専門職業人である看護職のキャリア開発を支援する。

日本看護協会の基本理念

本会は、3つの基本理念の下、活動を展開しています。その基本理念や継続教育事業については、定款に定められています。

（目的）定款第3条

本会は、都道府県看護協会との連携のもと、保健師、助産師、看護師及び准看護師が**教育と研鑽**に根差した専門性に基づき看護の質の向上を図るとともに、安心して働き続けられる環境づくりを推進し、あわせて人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図ることにより、人々の健康な生活の実現に寄与することを目的とする。

（事業）定款第4条

1. 教育等看護の質の向上に関する事業



看護の将来ビジョン

変革を見据えた看護と看護職のあるべき姿として本会が2015年に策定しました。「看護の将来ビジョン」に示された看護職の役割や、本会の活動の方向性に沿って、教育計画基本方針を作成しました。

2025年に向けた生活を重視する保健・医療・福祉制度への転換

「生活」と保健・医療・福祉をつなぐための看護職の役割

1. 健やかに生まれ育つことへの支援
2. 健康に暮らすことへの支援
3. 緊急・重症な状態から回復することへの支援
4. 住み慣れた地域に戻ることに伴う支援
5. 疾病・障がいとともに暮らすことへの支援
6. 穏やかに死を迎えることへの支援

質の高い看護人材を育成する教育・研修・資格・認証制度の構築

ビジョン達成に向けた日本看護協会の活動の方向性

1. 生活を重視する保健・医療・福祉制度への転換の促進
2. 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及
3. 質が高く、持続可能な看護提供体制の構築
4. 看護政策の推進と看護協会組織の強化

2023年度 教育計画の重点事項

1. 人々の生涯にわたり、「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ看護の提供
 - (1) ケアの受け手に質の高い看護を必要とときに切れ目なく提供するために、看護連携を推進し、多職種の中で役割を果たすことを目指す研修
 - (2) 看護管理者が地域完結型の医療ケアの提供を目指して、より安全で質の高い看護の底上げを目指す研修
 - (3) 複数の健康問題を抱えるケアの受け手を対象とした看護実践の充実を図る研修
2. 新型コロナウイルス感染症拡大下における看護職への学習機会の保障

研修を選択する流れ

◆ラダーを知らない方、まだ活用していない方も、自分に合った研修が選択できます◆

動機や学習したい内容 → ご自身のレベルや、研修により到達を目指す能力等を参考に研修を選択することをおすすめします

| 選択するラダー | レベル | 研修により到達を目指す能力 ・ 研修受講に適した能力 |
|-------------------------------------|-----|--|
| 助産実践能力習熟段階 (臨床ラダー) (CLOCMIP®) | 新人 | 1. 指示・手順・ガイドに従い、安全確実に助産ケアができる |
| | I | 1. 健康生活支援の援助のための知識・技術・態度を身につけ、安全確実に助産ケアができる／ 2. 院内助産・助産師外来について、その業務内容を理解できる／ 3. ハイリスク事例についての病態と対処が理解できる |
| | II | 1. 助産過程を踏まえ個別的なケアができる／ 2. 支援を受けながら、助産師外来においてケアができる／ 3. 先輩助産師とともに、院内助産においてケアができる／ 4. ローリスク/ハイリスクの判別および初期介入ができる |
| | III | 1. 入院期間を通して、責任をもって妊産婦・新生児の助産ケアができる／ 2. 助産師外来において、個別性を考慮し、自律したケアができる／ 3. 助産師外来において、指導的な役割ができる／ 4. 院内助産において、自律してケアができる／ 5. ハイリスクへの移行を早期に発見し対処できる |
| 看護師の臨床ラダー (日本看護協会版) (JNAラダー) | IV | 1. 創造的な助産ケアができる／ 2. 助産師外来において、指導的な役割ができる／ 3. 院内助産において、指導的な役割ができる／ 4. ローリスク/ハイリスク事例において、スタッフに対して教育的なかかわりができる |
| | I | 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する |
| | II | 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する |
| | III | ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する |
| | IV | 幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する |
| 病院看護管理者の マネジメントラダー (日本看護協会版) | V | より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する |
| | I | 自部署の看護管理者とともに看護管理を実践できる |
| | II | 自部署の看護管理を実践できる |
| | III | トップマネジメントを担う一員として看護管理を実践できる |
| | IV | 病院全体の管理・運営に参画するとともに地域まで視野を広げた看護管理を実践できる |

※准看護師の方は、興味のある研修や、食事介助や感染予防などを学ぶ准看護師の方を主な対象とした研修も選択できます。

お申し込みは研修ポータルサイトから

※お申し込みの前に研修ポータルサイトで
該当の研修に関する最新情報をご確認ください。



研修ポータルサイト

本会HP (<https://www.nurse.or.jp/>) ▶ 研修ポータルサイト ▶ 研修の検索

受講料 (税込)

| 研修方法 | | 研修時間 | 会員 | 一般 |
|-----------------------------|-----------------|---------|---------|---------|
| インターネット 配信研修 [オンデマンド] | 個人・施設 (1 アカウント) | 90分 | 2,090円 | 3,190円 |
| | 施設 (10 アカウント) | | 10,450円 | 15,950円 |
| | 個人・施設 (1 アカウント) | 3時間 | 4,180円 | 6,380円 |
| | 施設 (10 アカウント) | | 20,900円 | 31,900円 |
| オンライン | Zoomウェビナー | 3時間 | 4,180円 | 6,380円 |
| | Zoomミーティング | 1日 | 10,450円 | 15,730円 |
| | | 2日 | 15,730円 | 23,540円 |
| 3日 | | 20,900円 | 31,460円 | |

『オンライン研修』 受講に際しての推奨環境

1. Zoomアプリが使用できるパソコン (1人1台) の準備
※タブレット、スマートフォンも可能ですが、資料等を映すため画面の大きな端末を推奨します。
2. 同一施設から複数名で受講する場合は個別の部屋
または同一室内で受講する場合はヘッドセットの準備
3. インターネットの通信環境の確保 (通信容量無制限 等)